



HATI-HATI はインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

梅のさわやかな香りが漂うこの頃、コロナウイルスのため緊急事態宣言、不要不急の外出の自粛など、例年になく対応に皆様方のご苦労が偲ばれます。

### 外国の人たちの間でコロナが蔓延！？

先日、当法人と仲の良い企業の方からこんなお話を聞きました。「近隣の市で外国の子たちの間でコロナが出ているらしいよ。熱を出して病院に連れて行ったらコロナで。一緒にいた子たちも検査したらみんなコロナが出て。お正月休みに集まっていたらしくてね。困っとるよ。」

外国から来た若者たちは、大型連休になると、友人と集まって食事をしたり、みんなで出かけることを楽しみにしています。仲間との語らいは、三密を忘れ、マスクを外し、くつろいでしまうようです。当法人からの技能実習生も多分に漏れず、同じような行動をしていることが、彼らの SNS などから見受けられます。彼らが原因でコロナウイルス感染拡大が起きてしまうことは許されません。

### 今は我慢のとき

月1度の訪問の際は、すべての実習生のみなさんに現在の状況を説明し、「今は我慢のとき」と説明をしています。先日は、インドネシア送出国機関のソピヤンさんからもインドネシア語で注意をしてもらっています。実習生からも軽率な行動をしていたことについて、反省の声も聞かれています。

皆でこの非常時を乗り越えるために、今後も厳しい指導をしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

### 12月日本語能力検定 63%合格！

12月に行われました日本語能力検定で当法人では、すべての実習生が受験をし、合格率は63%でした。その中でも来日1年未満でのN3取得率73%であり、非常に素晴らしい結果でした。N3合格率は、毎年36%前後です。この結果と比べても、実習生のみなさんが頑張っていることがわかります。今後のみなさんの活躍がとても楽しみです。今回、残念な結果だった実習生のみなさんは7月の試験に向けてがんばってもらいたいと思います。

代表 新美純子



### <先生は地域住民！！>

#### 碧南警察署で日本のルールを聞きました

碧南警察署で、自転車などの交通ルール、窃盗、盗難、万引き事例、携帯電話やカードなどの詐欺被害などのお話しをしていただきました。

「自転車の無灯は罰金です」と説明を受けたAくん。警察の方に質問をしました。

「もし途中で電気が切れたことがあったらどうしたらいいですか？罰金ですか？」

警察の人はやさしく

「そういう時は自転車から降りて、自転車をひいて帰ってくださいね」と説明してくれました。一同安堵した表情。知らない国で罰金！！というワードにびっくりしたようでした。



## 実習生の生活

三河病院で技能実習中のワヒュさん、彼はインドネシアでは新聞記者をしていました。今回、HATIHATIに寄稿をしてくれました。

### 「もっと笑顔を見たい」

なぜこのタイトルにしたか。日本で初めて新年を迎えた時、そう感じたからです。みんなで挨拶をし合い、笑顔を見せた。誰もが良い年になることを願っています。

今年の日本の新年は、前年ほどお祭りではありませんが、インドネシアとは違うかもしれません。世界のすべての人々は、新型コロナウイルスの影響を受けています。親戚や家族と会うのはとても難しいです。日本のお正月はお祭りのようだとされていますが、コロナのせいで、そのような感じをほとんど受けませんでした。

私たち外国人にとって、興味深い新年の伝統があります。鏡餅、四輪波、角松、そして動物の干支をテーマにした装飾があります。ショッピングセンターに入るたびに、年末年始の名物を売るコーナーがありました。お餅からはじまり、年越し蕎麦、おせち料理、七草粥など見ていてとても楽しかったです。

インドネシアの新年のお祝いは、年越しの花火が上がるまでオートバイで街を回って、家族や友人と集まり、トウモロコシを燃やして祝います。日本のお正月は、インドネシアの断食明けのレバラン祭りに似ています。レバランでは、みんなで集まってごちそうを食べ、お互いを祝福し、懺悔をします。日本の年始の様子を見て、インドネシアの楽しい時間を思い出しました。

日本では12月30日から1月3日まで、祝日になります。私たち病院で働く人にとっては、休みはありません。しかしその日は休日手当が出るのでうれしいです。休日であれば、家族や親戚と会うことができます。それは素晴らしいことだと思いますが、私たちは、それはできないので、職場で休日勤務をする方がよいのです。(3月号につづく)

## 厚生労働省 地域共生シンポジウム

### シンポジストとして登壇します

2月23日(祝・火)に行われる地域共生シンポジウムに当法人の新美が登壇します。無料で誰でも参加できます。詳しくは「地域共生シンポジウム」で検索ください。

厚生労働省 相談支援包括化推進員等への支援と人材育成事業		
令和2年度 地域共生シンポジウム		
厚生労働省では、幅広い方々に対して、地域福祉の推進による地域共生社会の実現に向けた機運醸成を図ることを目的にシンポジウムを開催いたします。 ご所属・ご関心のある方はお申込みサイトよりご登録ください。		
※参加費は無料です。開催・収録ともに、参加費・観覧料・入場料・送料・印刷料・郵送料・その他一切の費用は主催者負担です。会場費や会場費の補助金もありません。入場料・入場券等の費用が別途発生する場合があります。会場へは公共交通機関またはタクシーをご利用ください。		
開催日時・令和3年2月23日(火・祝)13:00～16:30		
開催方法オンライン開催(YouTube Live 機能活用にて配信予定) ※ 参加費は無料です。参加費・観覧料・入場料・送料・印刷料・郵送料・その他一切の費用は主催者負担です。		
※ 申込締切は令和3年2月17日(木)まで 申込方法お申込みサイトよりお申込みください。※ 申込が定員に達した場合は抽選となります。		
その他お申込み詳細については、2月19日頃に、資料及び開催概要をご連絡します		
時間	内容	
13:00～13:05(5分)	開会挨拶 社会・福祉局長 橋本 忠宏	
	「プログラム」	
13:05～14:05(60分)	特別講演 地域共生社会を推進する政策と課題(録画) 中央大学 法学部 教授 宮本 大樹 氏	
14:05～14:15(10分)	休憩	
	「プログラム」	
14:15～14:35(20分)	みんなで作る「バリアフリーマップ」(録画) 一般社団法人「バリアフリーマップ」代表理事 橋本 忠宏 氏	
14:35～14:55(20分)	外国人の生活支援の取組(録画) 公益社団法人トレイディングケア 代表理事 新美 純子 氏	
14:55～15:15(20分)	愛知県における地域づくり(録画) 公益社団法人 愛知 県立大学 代表理事 高野 敏史 氏	
15:15～15:25(10分)	休憩	
	質疑応答の発表者、コメンテーターとのディスカッション	
15:25～16:25(60分)	コーディネーター 新美 純子 氏 発表者 高野 敏史 氏、新美 純子 氏、高野 敏史 氏 コメンテーター 高野 敏史 氏(東京大学大学院社会学部 准教授) 橋本 忠宏 氏(社会・福祉局長 生活困窮者自立支援課長/地域共生社会推進課長 兼務)	

## 編集後記

1年でもっとも寒い時期となりました。外国のみなさんは寒さに弱い反面、雪が見れてうれしい季節ですね。コロナウイルス感染者は高止まり中です。ひとりひとり気を付けて、乗り切っていきたいですね。

facebook

instagram



公益社団法人トレイディングケア

〒444-1336 愛知県高浜沢渡町 3-3-6 ハイムイノールB

TEL 0566-57-7700 FAX 0566-87-0552